

Pick Up News

前期も折り返し地点を越えました。7月末の定期試験まで約1ヵ月。1年生は試験に向けての不安もあるかと思いますが、各分野でよい成績を修めてきた先輩方から対策を聞いたり、分からないポイントを質問することができる「建築学科マスター」制度も始まります。大いに活用して下さい。6月は東北各県で父母懇談会も開催されました。建築学科では100名を超える保護者の方々にご参加いただきました。日頃の学生の様子について個別に面談し、お伝えしました。さて、4年生の就職活動は山場を迎えています。現時点では70%を超える内定率です。これから公務員試験に臨む学生もいます。建設関連の企業は非常に意欲的に本学科学生を求めています。一人ひとりにあった進路が決まるまでサポートしていきます。すでに大学院への進学を決めたもの(春季学内推薦)も7名おります。



4年生設計課題最終発表会 (5/29)

colorsは建築・デザインに興味を持つ学生でつくる有志団体です。総勢78名が活動しています。先日は、1年生が主体となり、上級生のサポートを受けながら「一週間設計」が行われました。学科では課外でのさまざまな活動を応援しています。



一週間設計の成果



一週間設計の活動の様子 (6/11)



仙台工業大学
インターシップ (7/14-16)



2年生設計課題中間発表会 (6/9)



3年生COC地域志向科目外部講師講義
車イス当事者によるバリアフリーデザインに関する講義



父母懇談会(仙台) (6/10)
各地で100名以上の保護者と面談



1年生 建築入門グループ講義

昨年度、深松組様との地域連携プロジェクトとして3年生が取り組んできたマンションのリノベーションプロジェクト。最優秀案が実施に移され、無事竣工しました。学生は現場での打ち合わせを重ね、図面や仕上げ材を決定していきました。自分たちのアイデアが形になる喜びを実感したようです。



Pick Up Lab.

不破研究室は、発足3年目の年です。今年度は大学院生2名と4年生10名で活動を開始しました。本研究室は、地域固有の環境デザインを次世代の地域計画にいかすことをテーマとし研究しています。とくに歴史的環境・文化的景観をいかしたまちづくりに力を入れており、地域資源を再発見することを目的に、伝統的な町並みや農村景観の調査を続けています。地域資源を次世代に継承するためのまちづくり、空間デザインを探究したいと考えています。みなさんにも、様々な地域に関わる機会を作りたいと思っています、積極的な参加を期待します。



机と椅子を新調しましたー



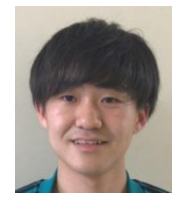
地図づくりの様子



4年 木村 奈央さん
石巻工業高校 出身

Pick Up Student

工業高校建築科から入学し、建築学をより深くより広く学んできました。最初の頃は簡単に感じていた講義も、2年生にもなると課題が増えていき徹夜で仕上げることもしばしばありました。本学の建築学科は学内で課題を行える環境が整っていて、夜遅くまで作業ができます。仲間と同じ課題を同じ空間で作業することで、お互いに情報交換や共有がしやすくなります。課題や設計は大変で辛い反面、仲間との楽しい思い出ができたいい時間でした。また、建築サークル(colors)に所属したことで、先輩や後輩との関わりを持つことができ、講義では学びきれない多くのことを学びました。私は公務員(建築職)になり、許可可業務や営繕業務に携わり、ふるさとに貢献していきたいと考えています。



2年 野崎 勇希くん
八戸西高校 青森 出身

Pick Up Student

東北工業大学の建築学科では自分の将来のために今何が出来るのか、何が必要なのかを自分自身で明確にしながら勉強できる環境にあります。また、幅広く建築分野を学ぶことが出来るため、自然と建築が好きになれます。特に建築設計の講義では、決められた条件のもとで多様な間取り、空間を表現することができて非常にためになる講義です。私は、今年度は宅建試験に挑戦しています。そのほかにも学科で行われるさまざまなプロジェクトやコンペにも積極的に参加していきたいです。大学生活で様々な課外活動や行事に参加することで、他学年の人たちとコミュニケーションを図ることができ、有意義な時間を過ごすことができています。時間を有効活用していくことで自分の将来の目標達成にも繋がると思っているので継続していきたいです。